

Peach John



CUSTOMER STORY

LECTRA



ピーチ・ジョンが、**KUBIX LINK PLM**を活用して業務効率の向上とECビジネスの最適化を実現

日本の女性向けの下着や衣料品の販売を行うピーチ・ジョンが、レクトラのPLMを活用して取組む商品データの一元管理と効率的な商品管理

PEACH JOHN

課題

ピーチ・ジョンの事業の拡大に伴って、消費者の期待に応える商品を迅速に提供できる体制を構築するため、商品情報の一元化や柔軟なシステムの必要性を感じていました。またデジタルトランスフォーメーションの実施や、ECビジネスの最適化に向けた取り組みの必要性を感じるようになりました。

ソリューション

レクトラは、情報の一元化、社内外のコミュニケーションやコラボレーションの効率化が可能なKubix Link PLMを提案しました。Kubix Linkは、情報の共有、進捗状況の確認、意思決定の迅速化を容易にします。

結果

ピーチ・ジョンは、現在データの一元管理や情報共有をKubix Link PLMのプラットフォームで実施し、業務効率の改善、そしてECビジネスの最適化に取り組んでいます。

01

ピーチ・ジョン：通信販売からECビジネスへ

ピーチ・ジョンは1994年に輸入下着の通信販売会社として設立され、同年には1号店を出店しました。2000年には全国の書店などでカタログ販売を開始し、TVCMもスタートしました。2007年に、ワコールホールディングスの子会社となり、その後は香港、中国、台湾など、海外にも出店し事業を拡大してきました。

事業の拡大に伴って、消費者の期待に応える商品を迅速に提供できる体制を構築するため、商品情報の一元化や柔軟なシステムの導入を検討するようになりました。同社では、エクセルによる非効率な商品管理から脱却して、必要な情報を収集する時間のムダをなくし、またEメールのやり取りにかかる時間をなくす、といったスムーズな情報共有の実施とコミュニケーションコストの削減を目標としていました。

またデジタルトランスフォーメーションの実施や、ECビジネスの最適化に向けた取り組みの必要性を感じるようになりました。



02

KUBIX LINKでコミュニケーションの効率化と情報の一元化

現在のファッション業界では、情報のサイロ化を防ぐテクノロジーを活用して、すべての商品情報を一元化したプラットフォームを構築することが、迅速な商品の提供につながります。このプラットフォームにより、情報の共有、正確なデータ、プロセスの可視化が可能になり、より構造化された効率的な作業プロセスが実現します。

Kubix Link PLMは、一元化されたプラットフォームで、デザインからECサイトへの商品投入プロセスまで、商品に関するすべてのデータを統合、共有、伝達することができるクラウドベースのソリューションです。このオープンなプラットフォームでは、デザインや縫製指示などのあらゆる情報を集約し保存・蓄積していくことができます。ユーザーはプロジェクトの進捗をリアルタイムで管理し、データに基づいた意思決定を行い、従来のプロセスからの移行をスムーズに実施できます。

レクタのPLMであるKubix Link を知った同社は、データの一元管理による情報共有がもたらす効率的なコミュニケーションの実現や、カレンダー式の進行管理などで正確な進捗状況の把握など、大幅な作業効率の改善を確信し、導入を決定しました。



03

直感的な操作が可能な最新のソリューション

早期の導入を目指していたピーチ・ジョンは、コロナ禍での導入にも関わらず、スケジュール通りに実務展開が出来ました。

“Kubix Link PLM を使用することで、社内の業務の見える化を達成して、業務効率の向上とECビジネスの最適化を図ることができると期待しています。またKubix Link は、直感的に操作できる使いやすさや、バージョンアップが無料で常に最新の機能を使用できることなど、最新のデジタルトランスフォーメーションという観点で先進性を高く評価しています”と述べています。”

同社 営業情報システム部 部長
桃井佑典

レクタラについて

KUBIX LINK

ファッション業界のために設計されたエコシステムであるKubix Linkを導入すると、データライフサイクル管理 (PLM)、商品情報管理 (PIM)、デジタル資産管理 (DAM) を一体化して、クラウドベースのプラットフォームに商品情報を集約し、そこで情報を処理および共有することが可能になります。Kubix Linkは直感的に操作できるユーザーフレンドリーなインターフェイスで共同作業を促進し、無限の設定パターンと親しみやすい環境を提供します。これにより商品開発プロセスの一貫性と効率性が高まり、チームはよりスマートに作業を進めて消費者の期待をより確に満たす商品を速やかに市場に投入できるようになります。

詳細はこちら ↓